

トリシマのサステナビリティ

社是・経営理念	1
サステナビリティ基本方針	3
ESG	
環境	4
社会 品質・サプライチェーンマネジメント	7
人材マネジメント	12
社会との共生	15
ガバナンス	17

社是・経営理念

社是

金銭の赤字は出しても信用の赤字は出さな

この社是のもと、2019年8月1日の創業100周年を記念して、経営理念・行動指針を改めました。

経営理念

私たちはポンプを愛し、
世界によりよい変化を生み出すために、
進化し続けます。

行動指針

TEAMWORK
DIVERSITY
PROFESSIONAL
CLARITY
ENTHUSIASM
INNOVATION

EVOLUTION

1. Teamwork

最強のチームワークで、共通のゴールに向かって邁進します。

2. Diversity

多様性を尊重して一人ひとりの個性を活かし、企業価値を最大限に高めます。

3. Professional

高いプロ意識を持ち、自らの職務に責任を持って取り組みます。

4. Clarity

法令を遵守し、誠実で透明性の高い企業活動を通して、社会に貢献します。

5. Enthusiasm

わくわく仕事を楽しみながら成長し、お客様に感動を届けます。

6. Innovation

柔軟な発想と行動力で失敗を恐れず挑戦し、イノベーションを追求します。

サステナビリティ基本方針

トリシマグループは、企業活動の礎である「社是」のもと、「経営理念」と「行動指針」を定め、「EVOLUTION」をキーワードに、企業活動を進めています。これに加え、地球環境保全、安心・安全な生活基盤への貢献および健全な事業活動を通じてすべてのステークホルダーと共に発展し、サステナブルな世界の実現をめざすべく、サステナビリティ基本方針を次の通り定めました。

国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」がめざす持続可能な社会の構築に積極的な役割を果たすとともに、社会課題を解決する製品・サービスを通じて持続的に企業価値を拡大し、「社会に欠かせない企業」をめざしていきます。

1. 事業を通じた社会課題への取り組み

ポンプ製品での省エネや防災・減災技術の推進、スマートメンテナンス等によるDX推進、サプライチェーン全般での環境負荷低減、工場・オフィスで使用するエネルギーのグリーン電力転換などに取り組むことで、地球温暖化防止、水質汚染防止など、人類共通の重要課題である地球環境保全や安心・安全な生活基盤づくりに取り組んでいきます。



2. 社会からの信頼醸成

社会からの信頼は、法令遵守、公正な競争、製品品質の維持・向上、適切な情報開示、情報セキュリティの確保、危機管理体制の整備など社会的要請に沿った企業活動により得られます。そのガイドラインとなる「倫理規範」および「コンプライアンス行動規準」に沿った業務遂行を続けるとともに、ガバナンス・経営基盤の強化を図ることで、社会から高い信頼を得る経営を実現します。



3. 人権の尊重

すべてのステークホルダーの人権を、年齢・性別・国籍・社会的立場など個人の属性に関係なく尊重します。グループ内の多様な従業員にとって働きがいがあり、安全・健康に働ける職場環境の整備に努めます。



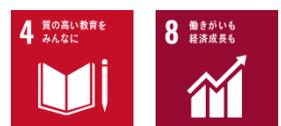
4. 地域社会への貢献

地域社会との適正なコミュニケーションを図り、教育・文化事業や環境保全、また従業員のボランティア活動の支援など、地域社会に貢献する活動に努めます。



5. 人材育成

企業の持続可能性の源泉は「人」であり、一人ひとりの成長こそが、トリシマの未来の土台です。その能力開発に資する各種研修や教育支援、コンプライアンス意識向上のためのCSR研修、自己研鑽・自己啓発の促進等を実施する一方、従業員がモチベーションを向上・維持しその能力を最大限発揮できるよう、公正で透明性のある人事制度の整備に努め、従業員の活力の最大化を図ります。



以上

ESG 環境

ESG のうちの E、環境（Environment）では、当社の製品供給・事業活動を通じた環境貢献および事業活動における環境負荷の低減を重視して取り組んでいます。一方で、効率的な生産活動により CO2 排出量の削減や資源の再利用化に取り組むことで、低炭素社会の実現を推進しています。

環境方針

理 念

株式会社西島製作所は、地球環境保全が人類共通の重要課題であると認識し、「人のため、社会のため、そしてこの地球を住み良くするため」に、「美しい自然と安らぎのある地球環境づくり」をテーマに、ポンプを含む環境共生事業を通して、より豊かで潤いのある生活環境づくりのための循環型環境システムを社会に提供します。

また、環境に配慮した生産活動による環境負荷の低い製品を提供することを通じて、地球規模で持続的発展が可能な社会の構築に貢献し、健やかな地球環境を未来に引き継ぐことを目指します。

活 動 方 針

私たちは、この理念を具現化するため、以下の活動を推進します。

- 1) 環境に配慮した高効率ポンプの開発・提供、メンテナンスサービスの提供によりお客様の省エネルギーに貢献します。
- 2) 自然エネルギーを利用した風力発電システム及び小水力発電システムを開発・提供し、CO2 の削減に貢献します。
- 3) 工場・オフィスの使用エネルギーについては、省エネ及びグリーン電力化により、2029 年度までにカーボンニュートラル達成を目指します。
- 4) 生産活動において、環境影響評価結果に基づき、省資源・廃棄物の削減及びリサイクル・化学物質の適正管理に取り組み、環境負荷の低減を進めます。
- 5) 調達先に対しても当社の環境方針を周知し、理解・賛同を求めることによりサプライチェーン全体のカーボンフットプリント低減に努めます。
- 6) 環境関連の法令・規制及びその他の当社が同意する要求事項を順守するとともに社内規定を制定し、これを順守します。
- 7) 環境パフォーマンスの向上を目的として、環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。

2021 年 4 月 1 日
株式会社西島製作所
代表取締役社長 原田 耕太郎

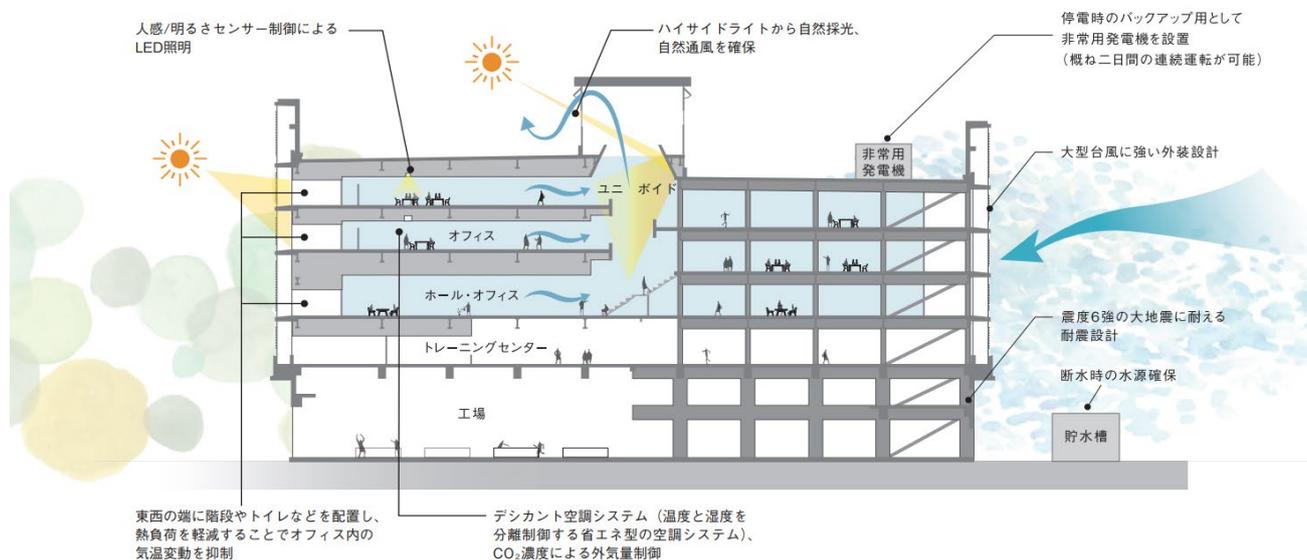
ISO14001

トリシマでは、1999年以來、本社だけでなく支社支店や子会社まで積極的に ISO14001（環境マネジメントシステム）を取得し、環境保全に努めています。



本社工場ビル（ZEB Oriented、グリーン電力化）

地球に優しく、災害に強い最先端ビル



本社工場ビルが 2021 年 3 月に竣工しました。西島製作所の心臓部となる当ビルは、災害時に従業員の生命と資産を守り、お客様の事業を支援し続けられる安心・安全な設計としています。例えば、耐震設計により、震度 6 強の大地震でも継続利用できる耐震性を確保、また、大型台風にも強い外装づくりを実現しました。さらに、給水と電力の設備バックアップを図ることにより、災害時にも機能を維持し続けることができます。また、本社工場ビルで使用する電力の 100%は、再生可能エネルギー由来で賄われており、カーボンニュートラルを達成しています。

「ZEB Oriented (ゼブ オリエンテッド)」評価基準を達成

本社工場ビルは「ZEB Oriented (ゼブ オリエンテッド)」の評価基準を達成しています。近年、SDGs (持続可能な開発目標) などへの注目が高まり、エネルギー消費量の削減が必要とされるなか、年間消費エネルギー量が大幅に削減された建築物であることを示す ZEB のさらなる普及のため、定義が拡充され「ZEB Oriented」が制定されました。「ZEB Oriented」は、延床面積 10,000m²以上で、用途ごとに定められた省エネルギー率を達成、かつ未評価技術の導入が条件になっています。本社工場ビルでは、南側の庇や気温変動の大きい東西面に階段・トイレ・倉庫を配置するなど、建物計画の工夫と CO2 濃度による外気量制御や自然換気システム、デシカント空調システムなど先端技術の導入で、40%以上のエネルギー消費量の削減を図っています。



※ZEB : Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることをめざした建物のことです。

購入電力の 100%を再生可能エネルギー化

本社工場ビルにおける購入電力の 100% (約 125 万 kWh) は、関西電力株式会社が提供する「再エネ ECO プラン」を活用し、バイオマス・風力・太陽光発電などの再生可能エネルギー由来としています。



ESG 社会

品質・サプライチェーンマネジメント

全社品質方針

品質基本方針

お客様の信頼と満足を得ること

品質方針

- 1) 法令・規則・ルールを遵守し、お客様の安全・安心を最優先します。
- 2) お客様にとって価値ある製品・サービスを提供するため、お客様のニーズや期待を的確に把握した提案や対応を行います。
- 3) 契約事項の明確化と実施展開を確実に行います。
- 4) 個々のプロセスにおける品質の作り込みと改善を推進します。
- 5) 品質目標を設定し、その達成のための施策を具体的に計画して実行します。
- 6) 不適合・クレームの未然防止のため、デザインレビューと初品管理を徹底します。
- 7) 発生した不適合の管理を徹底します。
- 8) 発生した不適合・クレームを多様な視点から分析し、再発防止を行います。
- 9) 社員の能力開発を計画的に支援し、自立（自律）できる社員の育成を図ります。
- 10) 品質マネジメントシステムの有効性を高めるため、その継続的な改善を行います。

2020年4月1日
株式会社西島製作所
代表取締役社長 原田 耕太郎

ISO9001

トリシマでは、1997年以來、お客様に信頼・満足していただける品質の製品・エンジニアリング・メンテナンスサービスなどをお届けするために、国際規格であるISO9001（品質マネジメントシステム）の認証を取得しています。さらには、ISO9001認証取得を維持継続しつつ、日ごろからトリシマの品質マネジメントシステムの改善を実行しています。



製品受賞歴

経産省「グローバルニッチトップ（GNT）企業 100 選」に認定

製品：海水淡水化向け大型ポンプ

徹底した差別化戦略に基づき技術開発や経営努力を続ける企業におくられる経済産業省の「2020 年版グローバルニッチトップ (GNT) 企業 100 選」に「海水淡水化向け大型ポンプ」でトリシマが選ばれました。

当社は 1960 年代後半より中東諸国を中心に南米諸国や豪州など、海水から真水をつくる海水淡水化プラントに数多くのポンプを納入しています。近年ではとくにプラントの省エネ化が求められており、当社はプラントの要となる RO 海水供給ポンプにおいて、極限までの高効率化を図りながら顧客ニーズに応える製品を開発。その実績と技術力が評価されました。今後もさらなる技術力向上に励み、世界の水不足の解決にポンプメーカーとして貢献していきます。



日本プラントメンテナンス協会「TPM 優秀商品賞 実効賞」を受賞

製品：TR-COM

トリシマの「TR-COM」が 2020 年 8 月に公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会の「TPM 優秀商品賞 実効賞」を受賞しました。TPM 優秀商品賞は、メンテナンス機器に関する新技術の開発を奨励し、メンテナンス技術の進歩を促進することを目的として制定されています。今回受賞した「実効賞」は、市場において優れた実績があり、使用上のノウハウが蓄積され、サービスが万全でユーザーがいつでも有効に使用でき、大きな実益をあげる商品に贈られるものです。

TR-COM とは、ポンプをはじめモータやファン、コンプレッサなどさまざまな回転機械にセンサを取りつけることで、離れた場所からも運転状態を監視できるシステムです。2018 年度より本格リリースを開始し堅実に受注を伸ばしており、コロナ禍にいたってはその特長をより実感していただきやすくなりました。

また取得できる周波数レンジを 10,000Hz まで拡大したことと数多くのデータが集まってきたことでより高度な解析ができるようになり、一般的には難しいとされる故障予知への実現も高まってきています。さらにポンプのプロとして、その先のソリューションまで提供することでより質の高いサービスを提供。こうした実績が評価されました。



一般財団法人省エネルギーセンター（経産省後援）「省エネ大賞 経済産業大臣賞」を受賞 テーマ：ポンプ de エコ

ポンプで省エネができることを伝えるため、トリシマが 2009 年より続けてきた「ポンプ de エコ」活動が、2014 年度「省エネ大賞—製品・ビジネスモデル部門」において最高位である「経済産業大臣賞（ビジネスモデル分野）」を受賞しました。省エネ大賞とは、優れた省エネ取組みや、先進的で高効率な省エネ型製品などを表彰するもので、ポンプ業界では先駆けとなる受賞でした。

「ポンプ de エコ」とは、ポンプ de 省エネ講習会やエコポンプニュースの発行を通し、ポンプで省エネできることを知っていただき、お客様のポンプ設備に最適な省エネ手法を提案する活動です。そもそも工場やオフィスビル、商業施設、ホテル、病院など、現代社会では、多くのポンプが休むことなく動いていますが、こうしたいわゆる汎用ポンプでは一般的に、ポンプの能力は設計段階において一定の余裕が見られます。そこでトリシマは、一步踏み込んで、プラス「省エネ」を実現するために、汎用ポンプながらとことん高効率を追求した「エコポンプ」を開発。「ポンプ de エコ」活動によってエコポンプを提供し、これまでに 1,200 社以上の事業所で省エネ効果を実感していただいています。

さらには、2050 年カーボンニュートラルを実現するためには、これまで以上の徹底した省エネが必要不可欠です。トリシマでは、従来のエコポンプよりさらにポンプ効率をアップさせた「スーパーエコポンプ」をリリースします。高効率なポンプでエネルギー使用量および CO₂ の削減を行い、カーボンニュートラル実現に向けてこれからも貢献していきます。



エコポンプ

調達方針

株式会社 西島製作所並びにトリシマグループは、地球環境保全、安心・安全な生活基盤への貢献および健全な事業活動を通じ、SDGsが目指す「持続可能な社会」の実現を目指し積極的な役割を果たすとともに、企業価値の向上に努めることを「サステナビリティ基本方針」として定めています。

その責務の実現にはサプライチェーン全体での取り組みが必要で、お取引先の皆様に当社の思いをご理解いただき、共通の目的に向かってご協力いただくことが肝要と認識しています。

この認識のもと、当社の基本的な考え方と姿勢を「トリシマグループ 調達方針」として定めました。お客様に満足いただける製品・サービスの提供を持続し、同時にお取引先の皆様のご賛同によるパートナーシップ体制の強化を基礎に、当社の果たすべき社会的責務の向上を目指してまいりたいと考えています。

調達方針

1. 公平・公正な取引

- 1) 私たちは、SDGsの理念に沿い法令、安全、権利保護、品質、納期、コスト、経営安定性などの各視点から合理的と判断されれば、すべてのお取引先に競争の機会を公平・公正に提供します。
- 2) 私たちは、お取引先の選定において、経済合理性を基準に公正な判断を行います。
- 3) 私たちは、お取引先とフェアな立場で共存共栄を目指します。優越的な地位を濫用した不公平なお取引を強いるような行為は行いません。

2. コンプライアンス遵守

- 1) 私たちは、国内関連法令のみならず、我が国や当社に適用される海外関連法令を遵守し、紛争鉱物不使用などの方策を講じ、労働者をはじめあらゆる人々の人権保護を重視します。
- 2) 私たちは、あらゆるステークホルダーの個人情報・知的財産・営業機密を守ります。
- 3) 私たちは、お取引にあたって不正や不公平を発生させないために、しくみの改善と教育の努力を続けます。たとえ違法でなくとも、社会常識から逸脱するような当社従業員とお取引先との不適切な関係、接触は禁止します。
- 4) 私たちは、反社会的勢力と一切の関わりを持ちません。

3. 共存共栄と持続的発展

- 1) 私たちは、CO2削減などを通じて地球環境を保護するため、グリーン調達をめざし、リサイクル品や低環境負荷品を優先的に採用します。また、当社が社会・地域との友好関係を深める一助となる、または、ステークホルダーの環境保護活動に貢献できる製品やサービスのご提案も積極的に受け付けます。
- 2) 私たちは、お客様のお役に立つことを通じてより良い社会の構築の一助とするために、高品質であるだけでなく、品質改善にも前向きなお取引先を積極的に採用します。そのために、調達する製品やサービスの価格、納期についても、合理的な判断に基づき協議させていただきます。
- 3) 私たちは、価格だけでなく、調達後の維持管理に発生するコストや低環境負荷性も重視します。
- 4) 私たちは、当社従業員のみならず、お客様やお取引先の従業員の方々の安全、健康を損なうことのない製品やサービスのご提案にも真摯に対応します。

お取引先の皆様へのお願い

1. 法令・社会規範の遵守

お取引先の皆様が事業活動を行っている以下を含む各国・地域の関連する法令・社会規範の遵守をお願いします。

- 関連する法令など（各国・地域の独禁法、商法、下請法、外為法、個人情報保護法、著作権法など）の遵守・徹底
- あらゆる利害関係者への贈賄（違法な贈与、支払、対価、金銭的または金銭以外の利益供与）の禁止

2. 人権・労働安全衛生への配慮

お取引先の皆様の事業活動において、基本的人権を尊重するとともに、安全で清潔な職場環境の実現に努めるよう以下の遵守をお願いします。また、紛争鉱物などの取扱いに関しても別に定める当社ガイドラインに沿うようご協力をお願いします。

- 強制労働・非人道的な扱い（奴隷を含む）・人身売買・児童労働・差別の禁止
- 適切な賃金の支払と労働時間の管理、従業員の団結権の尊重など
- 安全で清潔な作業環境の実現

3. 環境への配慮

環境への取り組みを、経営の重要課題の一つとして位置づけ、環境に調和した製品作りを推進する活動への積極的な取り組みと以下の推進をお願いします。

- 環境保全体制の整備と改善の推進（自社におけるCO2、有害化学物質排出量の管理と削減など）
- 有害化学物質の削減など環境負荷の小さい部品・原材料の調達（グリーン調達）の実施
- 環境保全活動（環境方針策定・システム整備・教育実施など）の推進

株式会社 西島製作所 調達部

労働安全衛生方針

基本理念

当社はポンプを中心とした製品の開発・製造をはじめとする事業活動を通じて社会に貢献すると共に、社員が安心して働ける「安全衛生環境の創造」と「健康の保持・増進」をQCDの基盤と位置づけ、安全衛生基本方針を定めて、常にスパイラルアップを図る新たな安全衛生文化を構築します。そして、永久に成長しつづける、活力ある企業になることを目指します。

基本方針

- 1) ISO45001 に基づいた労働安全衛生マネジメントシステムを構築し、継続的な改善活動を通して常に安全衛生水準の向上を目指します。
- 2) リスクアセスメントを通して職場の危険有害要因を明確にし、対策を打ち続けることにより着実にリスクを低減させます。
- 3) 安全衛生関係法令及び社内基準を順守し、より一層の安全衛生管理に努めます。
- 4) 全従業員のみならず、関係者の協力の下にコミュニケーションを図り、全員参加の快適な職場作りを目指します。
- 5) 従業員の教育・訓練活動を通じて、安全衛生意識の向上を図り、インシデントの予防、事故・災害ゼロを目指します。
- 6) 安全衛生活動の実行に当たっては、適切な経営資源を投入し、効果的な改善を継続的に実施します。

2020年4月1日
株式会社西島製作所
代表取締役社長 原田 耕太郎
OHSMS 総括管理者 大家 満彦

ISO45001

従業員および関係者とともに安全な職場環境づくりを進めるため、労働安全衛生マネジメントシステムの認証を取得し、安全衛生活動を推進しています。



事業継続計画（BCP）

事業継続計画書を作成し、災害時に備えた行動規範を社員に教育しています。毎年11月には大規模災害（地震・火災）防災訓練を実施。大規模災害が発生した際の従業員の安全確保、BCPの初動体制の検証、地元消防署との連携体制の強化を目的に、大規模地震が発生したと想定して、本社全部署を対象に取り組んでいます。



安全衛生水準の向上

トリシマでは、協力会社を含めた安全衛生水準の向上を図るため、無事故・無災害を目的として、製造現場での「協力会社安全衛生協議会」、営業所では「安全大会」、建設工事現場では「災害防止協議会」を職場に応じて実施しています。

社員教育

新入社員へのポンプの技術教育やOJT、技術士をはじめとする国家資格などの取得支援、スキルアップのための通信教育やeラーニング、セミナー受講など、従業員に多様な学びの機会を提供しています。

さらに、「学びアワー」と題し、毎週1時間就業時間中に学ぶ取り組みをはじめました。時代の変化が加速するなか、ポンプを取り巻くものづくりも進化しています。中期経営計画Beyond110の土台のひとつに「人の成長」を掲げています。この「学びアワー」を通して、従業員がさらに学び、進化し、自身の成長、そしてトリシマの成長に繋げることを期待しています。



社内教育取組み内容（抜粋）

教育項目		概要
階層別教育		新入社員教育、新任管理者研修など、職位に応じて段階的に教育プログラムを設定
資格試験	技術教育	技術士をはじめ、技術者に必要な資格取得推進
	技能教育	技能検定を中心として学科、実技の講習会を毎年開催
CSR教育	CSR研修	全従業員を対象に、独占禁止法・下請法、インサイダー取引規制、情報セキュリティなど法規制に関わる教育
その他教育	学びアワー	将来の自分への投資として、就業時間内に学び時間を自由に設定
	トリポンスクール	地域の小学校にて出張授業実施
	弾丸ツアー	西島グループ海外拠点への視察

ダイバーシティとインクルージョン

グローバル市場で持続的な成長を遂げていくためには、人材の多様性が欠かせません。トリシマは外国人従業員の積極採用（2021年3月末現在のグループ全体の外国人従業員比率は44.7%）や国際感覚をもった社員の育成を通して、グローバル市場における組織競争力の強化を図っています。また、産前産後休業や育児休業を取得しやすい環境を整えるとともに、企業内託児所を設置。さらに、障がい者雇用も積極的に進め（2020年度の障がい者雇用率は2.57%）、すべての従業員が生き生きと働ける企業をめざしています。

次世代法および女性活躍推進法への取り組み

1. 「次世代育成支援対策推進法（次世代法）」とは

「次世代育成支援対策推進法（次世代法）」とは、次の世代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境をつくるために、国、地方公共団体、企業、国民が担う義務を明らかにしたものです。

2. 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」とは

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」とは、女性の活躍推進の取組を着実に前進させるべく、一般事業主それぞれの責務を定め、女性労働者に対する活躍の推進に関する取組を実施するように努めるものです。

3. 株式会社 西島製作所の取り組み

トリシマでは、これら「次世代法」と「女性活躍推進法」に基づき、すべての社員が個性と能力を十分に発揮できる職場環境を整えるため、一般事業主行動計画を策定しました。

厚生労働省大臣認定マーク「くるみん」を取得しています。

株式会社西島製作所は、従業員の仕事と子育てを両立できる環境をサポートする企業として、2017年7月19日、厚生労働省大阪労働局より認定マーク「くるみん」を取得しました。トリシマでは、従業員が産前産後休業や育児休業を取得しやすい環境を整えるのはもちろん、企業内託児所を設置するなど、子育て支援を進めています。今後も、従業員一人ひとりが生き活きとやりがいをもって働ける企業であるよう取り組みを続けてまいります。



健康経営

企業が発展していくためには、「人」こそが大切であるとの考えから、トリシマでは古くから人材を「人財」と捉え、従業員が安心して安全に、そして健康に働ける環境の整備に取り組んでいます。

1. 「からだ」の健康支援

- ① 本社内医務室を設置
- ② 定期健康診断・人間ドッグの実施、産業医による健康指導
- ③ 管理栄養士による栄養バランスの整った昼食を本社食堂において安価で提供
- ④ 分煙の徹底（本社屋内での禁煙の徹底）
- ⑤ ISO45001 に基づいた労働安全衛生マネジメントシステムを構築
- ⑥ 心肺蘇生(AED)講習会や交通安全講習会など事故防止の啓発

2. 「こころ」の健康支援

- ① 全従業員を対象とした年に一度のストレスチェック実施
- ② メンタル相談窓口として電話相談サービスの案内

3. ワークライフバランス

- ① 労働時間管理の徹底
- ② 時間単位の有給取得も可能・ファミリーサポート・産休・育休・有給取得率の向上に向けての取り組み
- ③ 育児や介護などとの両立支援

4. 働きやすい職場づくり

- ① 2021年3月に竣工した本社工場ビルにおける温度・湿度・CO2管理などで職場環境が飛躍的に改善
- ② 本社工場ビルにおいて、部門間の壁を取り払い、各階への移動をスムーズにしたボーダレス・プレイスやフリーアドレス席、カフェの設置などで社員同士の一体感やコミュニケーションを活性化
- ③ 本社の営業部署での時差勤務
- ④ 在宅ワークも可能とするペーパーレス化、情報共有化、オンラインミーティング活用により場所にとらわれない働き方



5. 感染症対策

- ① 従業員とその家族のため本社内でのワクチン職域接種
- ② 本社食堂でのアルコール消毒の徹底はもちろん、一席ずつ開けて着席、部署ごとに時間差で昼食
- ③ 在宅ワーク・オンラインミーティングの活用

ESG 社会 社会との共生

社会貢献活動

トリシマは一企業として、地域に根ざした企業となることに努め、ひいては社会全体との調和・協働すべく、社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

高槻市芸術文化劇場「トリシマホール」

トリシマ本社のある大阪府高槻市では、市民会館に代わる新たな文化施設「高槻城公園芸術文化劇場」が2023年3月にオープン予定です。その劇場の中核を担い約1,500席を有する大ホールのネーミングライツパートナーとして、トリシマが選ばれました。大ホールは「トリシマホール」として市民の皆様にも親しまれることとなります。

このほかにも地元高槻の企業として市民工場見学会や高槻シティハーフマラソン・高槻市民ふれあい運動会への協賛、たかつき産業フェスタへの出展など、地域の文化芸術の発展・スポーツ振興に貢献しています。



高槻城公園芸術文化劇場外観 完成予想図

敷地の沿道緑化

2021年3月に竣工した本社工場ビルの建設と合わせて塀を改修し、緑化しました。地域の人々の生活動線でもある沿道が緑で潤いのある景観となっています。



小学校への出前授業「トリポンスクール」

次世代を担う子どもたちの将来への夢や希望を育むことを目的に、2008年度より大阪府高槻市本社・工場の近隣にある小学校へ「ものづくりの楽しさややりがい」を伝える出前授業を行っています。講師役は各部署から選抜された若手社員チームで、半年がかりで授業の企画から実施までを行い、子どもたちと共に社員も学び、成長するプログラムです。



被災地ボランティア活動

近年、大規模な地震や台風、豪雨などによって人命や社会生活に大きな被害が生じる災害が増えています。そこで、被災地支援の一環として、社員ボランティアをトリシマからも派遣しています。また、台風や豪雨などの災害で、生活の基盤を支える水インフラ設備が被害を受けた場合には、ポンプ設備の迅速な被災状況の把握・復旧作業に尽力しています。

ESG ガバナンス

トリシマグループコンプライアンス宣言 (コンプライアンスに関する方針と推進体制)

西島製作所グループは、「金銭の赤字は出しても信用の赤字は出さぬ」を社是として事業を推進してまいりました。

この社是は、「赤字や借金は徐々に返済していけば取り返しがつく。だが、一度失った信用の回復には長い年月を要し、時と場合によっては戻らないこともあり、会社の致命傷にもなりかねない。その信用もまた、コツコツと積み重ねていくものである。」ことを示すもので、この精神はコンプライアンスにつながるものであります。西島製作所グループは、この精神に則り、コンプライアンスの推進の手引き書である「倫理規範」及び「コンプライアンス行動規準」をすでに制定しておりますが、このたびのコンプライアンス強化の法改正に対応するため改訂を行いました。

西島製作所グループは、これらの「倫理規範」及び「行動基準」を守り、業務を遂行します。万一、コンプライアンスに抵触する行為が発生した場合には速やかに是正し、再発防止策を講ずるとともに、情報公開を行い、ステークホルダーへの説明責任を果たします。そして、西島製作所グループのすべての役員・従業員は、個々のコンプライアンスの実践が企業倫理を形成していくとの強い決意のもと、組織及び個人が一体となってコンプライアンスに取り組むことを宣誓いたします。

2007年9月1日
株式会社西島製作所
代表取締役社長 原田 耕太郎

コンプライアンス推進体制

「コンプライアンス委員会」を設置し、以下の任務を遂行しています。

- 1) 当社および子会社からなる当社グループの遵法体制・倫理体制の構築と、これらの状況把握
- 2) 企業倫理に関する内部監査の結果について各執行部門へ指導・助言
- 3) 企業倫理に関する教育計画、教育活動についての指導・助言
- 4) 社内通報に関する対応について相談窓口へ指導・助言

コーポレート・ガバナンス体制

トリシマは、2015年6月26日より「監査等委員会設置会社」にガバナンス体制を移行しました。監査等委員である取締役（社外監査役3名を含む）に取締役会における議決権を付与することで、取締役会の監督機能を一層強化し、コーポレートガバナンス体制のさらなる充実を図っています。

会計監査人は、監査等委員および内部監査室と連携し、意見交換・情報提供を行い、効率的かつ有効な監査を実施しています。

内部監査室は、業務部門から独立した公正な立場において、業務の効率化・有効性・遵法性の観点からも内部監査を実施しており、当社事業のグローバル化に対応し、海外グループ会社にも監査を実施しています。今後、トリシマは取締役会の実効性をさらに向上させ、企業価値向上につなげます。また、海外を含む子会社管理の充実を図りガバナンスを強化します。さらに業績連動型報酬制度の導入を検討し、業績向上を図ります。

